

オランダ・ユトレヒト中央駅付近の交通に、都市の知恵を見た！

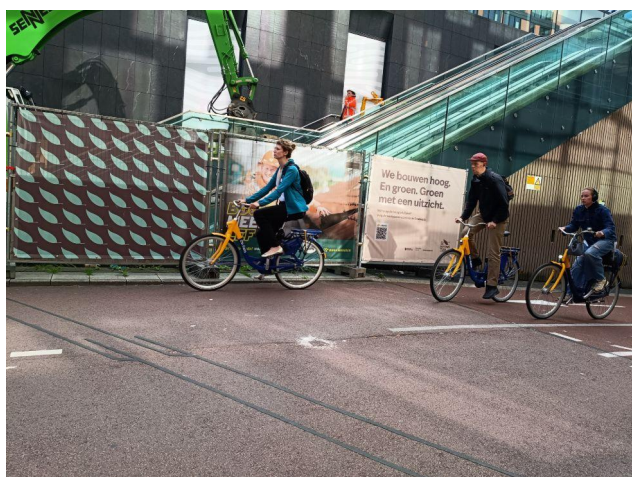
SGN エコ交通研究会 南村多津恵（輪の国びわ湖推進協議会）

6月13日から22日にオランダ、ドイツ、フランスの6都市を訪れて、自転車や公共交通と、ごみ関係の事情を、折りたたみ自転車と鉄道で見て回るプライベートツアーに出かけました。

その中で、オランダのユトレヒトを訪問したときのことをメールマガジン「SGN News」第348号のエコ交通研究会コラムで紹介しました。ここでは写真をお届けします。



自転車を持ち込める駅には直にアクセスできる。エレベーターにも自転車そのまま乗る。



駅地下の巨大駐輪場からオランダ鉄道が運営するレンタサイクルを利用する人々が次々出てくる。



駐輪場には様々なタイプの大量の自転車がひっきりなしに出たり入ったりしている。





バスは2連、3連の連節バスが当たり前。
次から次へと走ってくる。



ウンカの大群と思ったほどの自転車の群れが
高速で駆け抜けていく。



バス乗り場とトラムの乗り場は駅の地下に隣接。



乗り物好きにはたまらないだろう、多種類の
交通モードが一か所で見られる。乗り換え至便。

オランダ鉄道、ユトレヒトのトラム、バス、自転車。

大きな人流を受け止めてさばく壮大なプラットフォームがユトレヒト駅でした。
上手な都市計画を実行すれば、渋滞と無縁のまちができることを実感しました。

コラムで紹介したユトレヒト中央駅前の朝の通勤風景の衝撃的な動画はこちらからどうぞ。

→ <https://x.com/kuunoru/status/2071210144529289699>